

令和7年度修習技術者支援委員会報告



株式会社ファルコン

平野 嘉久

(Hirano Yoshihisa)

建設部門・総合技術監理部門

1. はじめに

徳島県技術士会に入会し、はや5年半が経過しようとしている。今年度から修習技術者支援委員会委員長を拝命し、前任の谷本氏の偉大さを噛み締める日々を送っている。所属会社における実務と委員会活動の両立は難しく、思うような活動をできていないが、これまで同様できる限りのことはやっていこうとする気概に変化はない。

近年の技術革新は目覚ましいものがあり、これまでの【ヒト】を中心とした属人化された業務遂行から、如何に【モノ】を活用し効率的・効果的に遂行していくかの時代へと変革している。このような背景から、【モノ】の精度向上により【ヒト】の関わる場面の減少が容易に想像でき、誰しもが同程度（ある一定のレベル）の成果を作り上げができる時代もそう遠くないものと推察される。したがって、資格そのものの必要性が現状よりも低くなり、資格の在り方の根幹を揺るがすことになるかもしれない。

しかし、あくまで【モノ】を活用するのは【ヒト】であり、適正な活用や地域特性等を踏まえた、あるいはこれまでにサンプルのない事象への対応、【モノ】による成果の妥当性確認などは【ヒト】が行っていくべきである。ここで活きてくるのが技術士をはじめとする有資格者であり、技術の在り方の変化に対応し、上記に対応できる技術者を育成していく必要がある。

今後迫りくる激動の時代を乗り越える仲間を増やすべく、かつ私自身が技術士取得の際にお力添えを頂いた皆様への恩返しに代わり、次世代への恩送りの一環として参画した、今年度の修習技術者支援委員会の活動内容について、委員を代表して報告する。

2. 修習技術者支援委員会の目的

修習技術者支援委員会の目的は、文字どおり修習技術者の方が技術士となるための支援活動と考えている。具体的には、技術士に求められる資質能力（コンピテンシー）を正しく理解していただき、技術士とは何か、どうあるべきか、どうすれば資質能力を向上させることができるかを伝え、技術士資格習得に向けた個人を支援する活動と考えている。

また、技術士を含めた多くの資格は、取得することが目的ではなく、あくまで取得後の業務遂行における手段である。技術士試験に合格すれば終わりではなく、技術士としての始まりである。「技術士法第47条の2」には、資質向上の責務が規定されている。技術士の皆様も修習技術者支援委員会の活動にご参加いただき、一緒にご自身のCPD活動に繋げていただきたい。

3. 今年度の活動内容

今年度に実施したセミナー等の概要を以下に示す。

(1) 令和 7 年度 技術士第二次試験受験支援講習会（出発セミナー）一般部門

- 日 時：令和 7 年 3 月 10 日(月) 18:00～21:00
- 開催場所：あわぎんホール 5F 会議室 6
- 内 容：SUKIYAKI 塾 鳥居先生による出願対策セミナー（受験申込書の書き方等）
- 参 加 者：26 名（内訳：鳥居先生、スタッフ 7 名、受講者 18 名）

(2) 令和 7 年度 技術士第二次試験受験支援講習会（筆記試験対策セミナー）一般部門

- 日 時：令和 7 年 4 月 14 日(月) 18:00～21:00
- 開催場所：あわぎんホール 5F 会議室 6
- 内 容：SUKIYAKI 塔 鳥居先生による筆記試験対策
- 参 加 者：44 名（内訳：鳥居先生、スタッフ 11 名、受講者 32 名）

(3) 令和 6 年度 技術士第二次試験 合格者体験談発表会

- 日 時：令和 7 年 5 月 31 日(土) 13:30～17:00
- 開催場所：あわぎんホール 5F 会議室 6
- 内 容：合格体験談発表（取組み事例等、発表者一人あたり 25 分+質疑応答）
- 参 加 者：22 名（内訳：発表者 6 名、スタッフ 6 名、受講者 10 名）

(4) 令和 6 年度 技術士第二次試験 模擬口頭試験（予定）

- 日 時：令和 7 年 11 月 24 日(月) 13:00～17:00
- 開催場所：あわぎんホール 5F 会議室 6
- 内 容：模擬口頭試験（受験者一人あたり 20 分+講評 10 分）

※本原稿提出期限後に実施予定

なお、次年度も今年度と同様の活動を計画しており、年間スケジュール（案）を表-1 に示す。

表-1 年間スケジュール（案）

項目 月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
技術士試験		受験申込			筆記試験					口頭試験			
合格発表									筆記試験 合格発表				二次試験 合格発表
セミナー	○ (出願)	○ (筆記)											○ (出願)
模擬試験									○ (口頭)				
合格体験談		○											

※技術士試験及び合格発表の時期は、令和7年度実施と同時期としている
※セミナー、模擬試験、合格体験談の開催時期は、現時点での予定である

次ページより、上記(1)～(3)の活動報告書を示す。なお、(4)の模擬口頭試験については、10/31 時点（本原稿提出期限）では開催前であるため、次年度の活動報告で報告予定である。

3-1. 令和7年度 技術士第二次試験受験支援講習会（出発セミナー）一般部門 活動報告

(1) 実施結果

- ① 技術士受験支援サイト「SUKIYAKI塾」の管理者APECさんこと鳥居直也氏を講師にお迎えしての令和7年度技術士受験支援講習会（出発セミナー）一般部門は、年度末の平日の忙しい中、18名の方にご参加いただいた（写真-1、写真-2 参照）
- ② 受講者は、建設コンサルタント勤務の方が多く建設部門の方が大半を占めたが、その他部門の参加者もあった
- ③ 試験制度改正から7年目ということもあり、試験に対する情報も充実していた
- ④ 令和8年度からは試験制度が改正されるため、今回が現行制度の最後の年となり、今年はチャンスの年との事であった
- ⑤ 動画配信やリモートによるセミナーが多い中、対面での講義は非常に貴重で、受講者にとって大変分かりやすい講義とすることができた



写真-1 講習会の状況



写真-2 説明を熱心に聞く受講者

(2) 意見・申送り事項など

- ① 年度末であったためか、受講者を集めるのに大変苦労した
- ② 参加者が少ないと採算を合わすことが困難となるため、多くの方に参加して頂くよう会員の方にもご協力お願いしたい
- ③ 参加者にご協力頂き、アンケートを実施した
- ④ アンケート結果から、本講習会の情報入手先はDM及び社内などの組織内情報が多数であった
- ⑤ アンケート結果から、オンラインでの開催を求める声が一定数あった
- ⑥ アンケート結果を踏まえ、本セミナーのより良い開催を目指し、委員会として議論することとした

3-2. 令和7年度 技術士第二次試験受験支援講習会（筆記試験対策セミナー）一般部門 活動報告

（1）実施結果

- ① 技術士受験支援サイト「SUKIYAKI 塊」の管理者APECさんこと鳥居直也氏を講師に迎えての令和7年度技術士受験支援講習会（筆記対策セミナー）一般部門は、平日の忙しい中、32名の方に参加いただいた（写真-3、写真-4参照）
- ② 受講者は、建設コンサルタント勤務の方が多く大半を建設部門が占めたものの、その他7部門（機械/応用理学/情報工学/農業/上下水道/森林/水産）の受験者にも参加いただいた
- ③ 試験制度改正から7年目ということもあり、試験に対する情報が充実していた
- ④ 特に、必須科目における設問の長文化など、近年の傾向に応じた解説は非常にわかりやすく、参考になったと考える
- ⑤ 令和8年度からは出発セミナー時にもご説明いただいたとおり試験制度が改正されるため、今年ほどの具体的な試験対策は望めないとのこともあり、今年度はチャンスの年と位置付け、時間枠を最大限活用した熱量あふれる講義となった
- ⑥ 試験対策としての知識習得と、論文作成テクニックとの両立について具体的な方法をご教授いただいたため、受験者にとって大きな指標になったと思われる



写真-3 講習会の状況



写真-4 説明を熱心に聞く受講者

（2）意見・申送り事項など

- ① 皆様のご協力もあり、出発セミナー時よりも多くの受講者が集まった
- ② 参加者にご協力頂きアンケートを実施した
- ③ アンケート結果から、本講習会の情報入手先はDM及び社内などの組織内情報が多数であった
- ④ アンケート結果から、対面・オンライン開催の希望比率は概ね半々であった
- ⑤ 参加者全員から「期待通り」「まあまあ期待通り」の評価を得られたものとなつたが、開催時期や開催時間についてなど、引き続き、より良いセミナーのあり方について委員会として議論することとした

3-3. 令和 6 年度 技術士第二次試験 合格者体験談発表会 活動報告

(1) 実施結果

- ① 令和 6 年度技術士第二次試験合格者を講師にお迎えし、16 名（内、講師 6 名）にご参加いただいた（写真-5 参照）
- ② 各講師の部門は、建設部門（鋼構造及びコンクリート 2 名、河川、砂防及び海岸・海洋 1 名）、農業部門（農業農村工学 1 名）、機械部門（機械設計 1 名）、総合技術監理部門（建設-道路 1 名）であった
- ③ 受講者の勤務先は、建設コンサルタントの方が多いが、その他業種の方もいた
- ④ 各講師からは、受験動機、筆記試験対策、口頭試験対策などを発表いただいた（写真-6 参照）
- ⑤ 筆記答案を例に、定型文やキーワードの入れ方などをわかりやすく解説いただきなど、有意義な情報を惜しみなくご発表いただいたため、受講者にとって大変有用な情報を得られたと考える
- ⑥ 各講師の発表の合間及び最後に質疑応答の時間を設け、直ちに有意義な情報交換ができた（写真-7 参照）
- ⑦ ご参加いただいた修習技術者からも講師に対し質問があり、不安に感じていることや、わからなかったことの解決の糸口になったものと考える



写真-5 合格体験談発表会の状況



写真-6 講師による発表状況（代表写真）



写真-7 質疑応答状況（代表写真）

(2) 意見・申送り事項など

- ① 本試験を 7 週間後に控えた土曜日開催であったためか、受講者を集めることに大変苦慮した
- ② 講師及びスタッフを含む参加者にご協力頂き、アンケートを実施した
- ③ アンケート結果から、本講習会の情報入手先は DM 及び社内などの組織内情報が多数であった
- ④ 学習感想について、ほとんどの参加者が「受験知識等が深まった」と回答しており、有意義な内容であったことが見てとれる
- ⑤ 参加費について、6 割が現状の設定金額を「適当」と回答しており、妥当な金額設定

であった

- ⑥ オンライン開催を行った場合でも、約半数が会場参加を希望するとの回答を得た
- ⑦ 開催時期については、4月初旬から5月初旬までの希望が多かったため、次回は4月に開催したい
- ⑧ 修習技術者支援委員会が実施しているセミナー等について、模擬口頭試験の開催希望数が参加者の8割を占め圧倒的に多かったが、出発セミナーや筆記セミナーの開催要望も一定数あった
- ⑨ 本項①やアンケート結果より、受講者集めに大変苦労したことを踏まえると、本セミナーの開催時期や魅力の発信及び周知方法などについて、より良い講習会とするための施策を委員会で議論することとした

4. おわりに

出発セミナー/筆記試験対策セミナーの講師を務めて頂いた鳥居先生をはじめ、合格体験談で貴重な情報を惜しみなく発表して頂いた合格者各位、各活動にてご協力頂いた徳島県技術士会会員各位に、本紙面を借りて改めて御礼申し上げます。

修習技術者支援委員会の活動は、皆様のお力添えがあってこそ、より有意義な活動ができるものであります。引き続きお力添え賜りますよう、お願い申し上げます。

以上